

中学生海外研修2026

2026.8.14

Vol.6



オーストラリア直送レポート

ドリップストーン校グループ

教育委員会社会教育課 栗栖 / 吉備中学校 平野

ドライバー・ローズベリー校グループ

教育委員会社会教育課 高垣 / 御霊小学校 生駒

学校最後の日！1日を通してオーストラリアを学ぶ。

ドリップストーン校

8月14日（金）、有田川町中学生海外研修も、いよいよ終盤を迎えました。この日は、ホストファミリーの生徒たちと一緒に、ダーウィン周辺を巡る1日校外学習です。

朝、学校に集合した生徒たち。出発までの時間は限られていましたが、少しでも長く友達と過ごそうと、仲良くなった現地の生徒を探して急いで会いに行く姿も見られました。

「一緒に写真を撮ろう！」「サインを書いて！」数日間の学校生活を通して仲良くなった友達との思い出を残そうと、写真を撮ったり、サインをもらったりする生徒たち。短い時間の中でも、最後まで友達との時間を大切にしようとする姿が印象的でした。

その後、バスに乗り込み、ホストファミリーの生徒たちと一緒に各見学ポイントへ向かいました。

最初に訪れたのは、**Aquascene Fish Feeding Sanctuary and Cafe**。ここでは、たくさんの魚にパンを使ってエサをあげる体験をしました。水辺に近づくと、魚たちが一斉に集まってきます。手に持ったパンを魚たちにあげながら、普段なかなかできない体験を楽しみました。現地の生徒たちとも一緒に魚にエサをあげたり、驚いたり、笑ったりしながら、楽しい時間を過ごしました。

続いて訪れたのは、**Museum and Art Gallery of the Northern Territory（北部準州博物館・美術館）**です。館内には、北部準州の自然や文化、歴史などに関するさまざまな展示があり、生徒たちはそれぞれ興味のある展示を見ながら見学しました。そして、見学の後のお楽しみはお土産選び。お土産売り場では、家族や友達への贈り物を楽しそうに選ぶ生徒たちの姿が見られました。「これは家族に」「これは友達に」と、それぞれ大切な人の顔を思い浮かべながら、最後のお土産選びを楽しんでいました。

昼食は、屋外の木陰でいただきました。この日の気温は31℃。日差しの下では暑さを感じ

じますが、木陰に入ると風が通り、比較的快適に過ごすことができます。オーストラリアならではの気候を感じながら、友達やホストファミリーの生徒たちと一緒にランチを楽しみ、午後の活動に備えました。

午後からは、軍事博物館を訪れました。ここでは、戦争に関する展示や、日本とオーストラリアとの関係について学びました。楽しい見学だけではなく、戦争の歴史や当時の出来事を伝える、ショッキングな内容も含まれていました。

これまでの研修では、オーストラリアの自然や文化、学校生活など、さまざまなことを楽しみながら学んできました。その一方で、今回の見学では、過去の歴史に目を向け、平和について考える時間となりました。展示を通して感じたことは、生徒一人ひとり違ったかもしれませんが、それでも、戦争の悲惨さを知り、平和を願う気持ちは、みんなが改めて感じる機会になったのではないのでしょうか。

15 時頃には学校へ戻り、1 日校外学習を終えました。

そして夕方からは、ホストファミリーと一緒にナイトクリフへ。海岸沿いの広い公園に、それぞれのホストファミリーが集まり、みんなでピクニックを楽しみました。テーブルには、ホストファミリーが持ち寄ってくれたチキンやサラダ、パン、そしてたくさんのスイーツが並びました。食事を囲んで会話を楽しんだり、海岸付近で一緒に夕日を眺めたり、遊具で遊んだり、サッカーをしたり。さらに、オーストラリアで人気のダンスをみんなで踊るなど、にぎやかで楽しい時間となりました。

生徒たちの様子を見ていると、この数日間でホストファミリーとの距離もすっかり近くなったことが感じられます。

今回、生徒たちを温かく迎え入れ、毎日の生活を支えてくださったホストファミリー。どのご家庭も本当に親切で、生徒たちにとって大切な思い出を作ってくださいました。

これで、学校で予定されていたすべての活動が終了しました。

日本を出発してから、飛行機の遅延や予定変更、長距離バスでの移動を乗り越え、ホストファミリーとの生活、現地の学校での授業、スポーツや音楽、料理、自然や動物とのふれあいなど、本当にたくさんの経験を重ねてきました。

そして、最初は緊張していた現地の生徒との交流も、今では「もっと一緒にいたい」と思える友達との時間へと変わっています。残された時間は、土曜日と日曜日のホストファミリーとの生活だけです。日曜日の夜には、いよいよお別れの時を迎えます。「もっと話せばよかった」「もっと一緒に過ごせばよかった」そんな後悔を残すことのないように、残された時間を大切にしてほしいと思います。たくさん笑って、たくさん話して、たくさん楽しむ。

最後まで「楽しむ！挑戦する！無理をしない！」を胸に、一人ひとりがこの研修を思い切り楽しみ、忘れられない思い出を作してほしいと思います。



ドライバー・ローズベリー校

8月14日の朝一は、ローズベリーセカンダリースクールの体育館で全校集会です。最終日の自己紹介という形になったので、内容的には、1週間過ごして楽しかったことなどを発表する場となりました。

ドライバースクールとは違い、600人の生徒が目の前に座っています。しかし、初日のドライバースクールの自己紹介よりも堂々とした態度で、臆することなく喋っていたのが印象的でした！みんなの前で記念撮影、そして、数人のローズベリーの生徒が舞台上でダンスを披露してくれました。

その後、バスにてミリタリーミュージアムに行きました！事前研修でも学習しましたが、日本軍がこのダーウィンに向けてミサイルを落とした過去があります。戦争で犯した過ちをオーストラリアの生徒と一緒に学ぶという貴重な時間となりました。

そのあと、ビーチでランチをしてから、市庁舎前で記念撮影。少しの自由時間を済まして学校に戻りました。

学校に戻ってからは、帰るまでの間に修了証の授与式です。校長先生が留守でしたので、代わりの先生でしたが、一人ずつ呼んでもらい修了証を手渡されました。

修了証を持ちながら、一人ずつの記念撮影を行いました。作った笑顔ではなく、心からにこやかなオーグスマイルが出ていたように思います。

学校での生活は本日で終了となりますが、まだ、残り2日間のホームステイがあります。ホストファミリーは、多感な年代の子どもたちにかけがえのない時間を与えてくれる存在です。本当に悔いのないよう、ホストファミリーを家族と思えるように、感謝の気持ちを持って2日間を過ごしてもらいたいです。



